

2019年版 MR白書

「MRの実態および教育研修の調査」本調査

頂いた回答は統計的に処理した上でMR白書にのみ使用し、他の目的に使用することはありません。

また、企業の個別情報（企業名や数値データ）は一切公表しません。

2019年3月 公益財団法人MR認定センター

マルチリターンシステムについて

本調査は回答方法を選べる「マルチリターンシステム」を導入しています。
郵送回答、WEB回答、メール回答のうち、ご都合に合った形式をお選びください。



郵送回答

同封の返信用封筒に調査票を3つ折りして封緘の上、ご返送をお願いします。
(切手貼付は不要です)



WEB回答

インターネットブラウザにて簡単にご回答ができます。下記サイトより、「WEB調査票」に進んでいただき、そのままご回答ください。
※回答の途中保存はできません。



メール回答

Excelファイルにてご回答ができます。下記サイトより、「Excel版調査票」をダウンロードしてください。回答後は「メール用調査票送信フォーム」より送信ください。
※回答の途中保存ができます。

サイトへのアクセス方法

①YAHOO!またはGoogle等の検索エンジンにて「アクロスアンケート」と入力して検索

YAHOO! JAPAN

Google

アクロスアンケート

検索

②検索結果の最上部の「調査・アンケート集計：株式会社アクロス」をクリックしてください。

③サイト右上にある青いボタンをクリックしてください。



④ポータルサイトにてアンケートコード「881430」を入力してください。

アンケートコード(6桁)を入力してください

881430

<http://www.across-net.co.jp/mrs/mr2019> のアドレスからもサイトに入れます。

⑤マルチリターンシステムのサイトが表示されます。

◆調査時点について 2019年3月31日現在とします。

◆調査票の締め切り

お忙しいところ大変お手数ですが、2019年4月19日(金)までにご返送をお願いいたします。

◆本調査に関するお問い合わせ先

公益財団法人MR認定センター

試験事業部長 若桑秀司

TEL 03-3279-2500 FAX 03-3279-2550

本調査票の回答の仕方について

①「郵送による回答」の場合

1. 設問への回答は黒色のボールペンか鉛筆にて、ご記入してください。
2. 設問に「1つだけ○」とある場合は、該当する選択肢番号に1つのみ○を付けてください。
3. 設問に「いくつでも○」とある場合は、該当する選択肢番号に複数○を付けていただいても結構です。
4. 設問に「数値記入」とある場合は、記入枠内に整数にて数値をご記入してください。
5. 設問に「文字記入」とある場合は、記入枠内に具体的な内容をご自由にご記入してください。また選択肢番号内に文字記入枠がある設問もございます。

②「メール回答」および「WEB回答」の場合

◎ご回答準備

1. 表紙の「サイトへのアクセス方法」をご覧ください。
2. 「マルチリターンシステム」のホームページが開きます。
3. 「メール回答」または「WEB回答」のどちらかのボタンをクリックしてください。
4. 「メール回答」の場合は、Excelファイルのダウンロードの画面が表示されます。「WEB回答」の場合は、そのまま調査票の回答画面が表示されます。

◎ご回答方法

1. 設問に「1つだけ○」とある場合は、該当する選択肢番号に1つだけチェックしてください。
2. 設問に「いくつでも○」とある場合は、該当する選択肢番号に複数チェックしていただいても結構です。
3. 設問に「数値記入」とある場合は、記入枠内に半角数値にて数値をご入力してください。
4. 設問に「文字記入」とある場合は、記入枠内に具体的な内容を全角文字にてご入力してください。また選択肢番号内に文字記入枠がある設問もございます。

それではここから本調査項目に入ります。お手数ですがご協力をお願いいたします。

なお調査時点は、2019年3月31日現在とします。

ご回答者様の情報

①企業名			
②企業コード		③教育研修責任者名	

I. MRの概要について

MRとは、企業を代表し、医療用医薬品の適正な使用と普及を目的として、医療関係者に面接の上、医薬品の品質・有効性・安全性などに関する情報の提供・収集・伝達を主な業務として行う者で、訪問する医療機関・エリア・領域などの担当が特定されている者を指します。

Q1. MR数について各項目に人数をご記入ください。〔各数値記入〕

		合計			
		男性		女性	
MR数および MR認定証 取得者数	①MR数 ※1		名	名	
	1. 認定証取得者		名	名	
	2. 認定証未取得者		名	名	
	②MR以外の認定証取得者 ※2		名	名	
	③管理者 ※3		名	名	
	1. 認定証取得者		名	名	
	2. 認定証未取得者		名	名	
薬剤師・ 有資格者別 MR数	④薬剤師	1. 修士以上		名	名
		2. 学 士		名	名
	⑤医師・看護師		名	名	
	⑥その他（④⑤⑦以外）		名	名	
	⑦不 明		名	名	
	合 計（①MR数と同人数）		名	名	

①MR数と同人数となります

※1 「MR数」… 製薬企業はコントラクトMRを除いた人数、CSOは所属MR数を記入のこと

※2 「MR以外の認定証取得者」… 教育研修、学術、製品企画、特約店担当、開発担当など

※3 「管理者」… 支店長、部長、所長、課長、グループマネージャーなど

Q2. MRの製品担当について〔1つだけ○〕

1. 領域で担当している
2. 領域の別なく担当している
3. 1.と2.と両方混在している

II. MRの雇用について

Q3. 新卒者のMR採用(2019年4月採用)〔1つだけ○〕

1. 採用した
2. 採用しなかった

Q4. MRの中途採用をしましたか。(2018年4月～2019年3月採用)〔いくつでも○〕

1. 正社員として中途採用した
2. 契約社員として中途採用した
3. 中途採用をしなかった

↓ Q4で「1. 正社員として中途採用した」「2. 契約社員として中途採用した」を選んだ方にお聞きします。

Q5. 中途採用者の前職は何でしたか。〔いくつでも○〕

1. 製薬他社のMR
2. コントラクトMR
3. 特約店関係者(MSなど)
4. 医療関係者(薬剤師、看護師、検査技師など)
5. 他業界

Q6. 定年退職者のMR再雇用〔1つだけ○〕

1. 再雇用した(嘱託を含む)
2. 定年を延長した
3. どちらも行っていない

※製薬企業のみ回答してください。(CSOは回答不要)

Q7. コントラクトMRの契約について〔1つだけ○〕

1. 契約した
2. 契約していない

↓ Q7で「1. 契約した」を選んだ方にお聞きします。

Q8. 契約中(2019年3月31日現在)のコントラクトMR数をお答えください。〔各数値記入〕

①合 計				②派遣型MR ※1				③請負型MR ※2			
			名				名				名

※1 派遣型MRとは、CSOから製薬企業へ派遣され、派遣先企業MRの一員として活動するMRを指します。

※2 請負型MRとは、CSOが製薬企業からプロジェクトを請負い、CSOの監督下で活動するMRを指します。

Ⅲ. MRの評価について

貴社が規定しているMRの評価についてご回答ください。

Q9. 実施しているMRの評価およびその頻度について [いくつでも○]

1. 能力評価 → SQ1. 頻度
1. 年1回 2. 年2回 3. その他

2. 賞与評価 → SQ2. 頻度
1. 年1回 2. 年2回 3. その他

3. 明示していない

理由を具体的に

Q10. 下記の評価項目の中で重視する評価ウェイト(概算)を構成比でご回答ください。 [各数値記入]

※貴社の基準が明確でない場合は、おおよそで結構ですのでご記入ください。

評価項目	内 容	ウェイト
① 営業成績	売上高、計画達成など（数値測定できるもの）	%
② 業 績	個人課題の進捗度、出来栄えなど（数値測定できないもの）	%
③ 行動プロセス	手順・効率、活動意欲、倫理観、コミュニケーションスキルなど	%
④ 知識レベル	社内試験の成績など	%
⑤ PMS	PMS業務遂行についての正確性、迅速性など	%
⑥ その他	具体的に	%
合 計		1 0 0 %

IV. 社内MR認定制度について

Q11. 上級MRや領域専門MRなどを社内認定する制度を設けていますか。[1つだけ○]

1. すでに導入している 2. 導入を検討中である
3. 今後も導入しない 4. 過去に導入していたが現在は導入していない

S Q. 上記項目の「理由」についてご回答ください。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
--

↓ Q11で「1. すでに導入している」を選んだ方にお聞きます。

Q12. 社内認定の方法について [いくつでも○]

1. 知識テスト 2. 業績 3. 技能テスト 4. 面接 5. コンピテンシー
6. その他

↓ Q11で「1. すでに導入している」を選んだ方にお聞きます。

Q13. 社内認定の認定区分について [いくつでも○]

1. 資質レベル（上級、スーパーMRなど） 2. 専門領域（がん、中枢神経領域など）
3. 担当医療機関（大学など） 4. 特定品目（戦略製品など）
5. その他

↓ Q11で「1. すでに導入している」を選んだ方にお聞きます。

Q14. 社内認定の有無を人事考課に反映させていますか。[1つだけ○]

1. 反映させている 2. 反映していないが、今後検討する 3. 今後も反映させる予定はない

Q15. 社内MR認定制度の有無に関わらず、社内の特別なMR呼称がありますか。[1つだけ○]

（例）マスターMR、シニアMR、エキスパートMRなど

1. 特別なMR呼称がある 2. 特別なMR呼称はない

S Q 1. 特別なMR呼称を具体的に回答ください。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
--

S Q 2. 特別呼称MRにインセンティブを設けている場合は、その内容をご回答ください。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
--

V-1. MRの導入教育の外部委託について

Q20. 導入教育の外部委託について〔1つだけ○〕

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 外部委託している | 2. 対象者の人数によって外部委託することがある |
| 3. 外部委託していないが、今後検討したい | 4. 外部委託を考えていない |

↓ Q20で「1.」「2.」を選んだ方にお聞きします。

Q21. どの科目を外部委託していますか。〔いくつでも○〕

- | | | |
|--------------|-----------|----------|
| 1. MRテキストすべて | 2. 疾病と治療 | 3. 医薬品情報 |
| 4. MR総論 | 5. PMS | 6. 添付文書 |
| 7. マナー研修 | 8. 安全運転講習 | |
| 9. その他 | 具体的に | |

↓ Q20で「1.」「2.」を選んだ方にお聞きします。

Q22. 外部委託の合計時間は、何時間ですか。〔数値記入〕

合計 時間

Q23. 導入教育で社外から招聘した講師はいますか。またその講義内容についてご記入ください。〔いくつでも○〕〔各文字記入〕

社外講師 〔いくつでも○〕	タイトルまたは講義内容〔文字記入〕
1. 医師	
2. 薬剤師	
3. 看護師	
4. 弁護士	
5. 特約店幹部	
6. その他	

Q30. 集合研修の組織単位別の実施割合(構成比)はどのくらいですか。[各数値記入]

組織単位	実施割合(構成比)
1. チーム・課	%
2. 出張所	%
3. 営業所	%
4. 支店	%
5. 全社	%
6. その他 <small>具体的に</small>	%
合計	1 0 0 %

※合計が100%となるように、おおよその実施割合(構成比)をご記入ください。

Q31. MRの出席率 [1つだけ○]

1. 100% (補講と併せて) 2. 約95%~99% 3. 約90%~95%
 4. 約85%~90% 5. 85%以下

Q32. 欠席者の補講 [いくつでも○]

1. 対象者を集合させて行っている (別の課の研修等への参加を含む)
 2. 対象者に個別指導を行っている (講義、ビデオ、レポート、テストなど)
 3. 対象者にe-ラーニングを行い、修了の確認をしている
 4. 補講をしていない

S Q. 補講をしていない理由は何ですか。 [いくつでも○]

1. 時間が取れない
 2. 人手が不足している
 3. その他 具体的に

Q33. 研修実施状況の把握 [1つだけ○]

1. 自社の研修管理システムでリアルタイムに集計し、データ保存している
 2. 毎月、教育研修管理者が実施記録を集計し、保存している
 3. 半年毎、教育研修管理者が実施記録を集計し、保存している
 4. 年1回、教育研修管理者が実施記録を集計し、保存している

5. その他 具体的に

Q34. MRが研修履歴を確認する方法 [いくつでも○]

1. PC画面（研修管理システム）でMRが自ら確認できる
2. MR認定センターの※Nikoサービスを利用して確認している
3. マネージャーからMRへ定期的（毎月・四半期）にフィードバックしている
4. 教育研修管理者に問合せがあれば回答している
5. その他

※Nikoサービス（MR認定証の更新条件確認メールサービス）

MRさん本人が登録することにより、好きな時に更新条件(教育履歴)をメールで確認できるようになります。
登録はセンターホームページより。

Q35. 継続教育で使用した教材 [いくつでも○]

1. 自社作成の教材（各種）
2. 公正競争規約（解説書、公取協ニュース、Q & A など）
3. 添付文書、インタビューフォーム
4. 市販後調査業務手順書
5. MRテキスト
6. 医療・医薬品業界の一般知識
7. 診療ガイドライン（各種）
8. MR認定センター主催の各セミナーの資料
9. MR認定試験問題集（市販品）
10. 今日の治療指針
11. 今日の治療薬
12. 学会抄録集（各種）
13. テレビ番組の紹介（医療系のテレビ番組）
14. 製薬協コード・オブ・プラクティス
15. その他

Q36. 実施した技能・実地研修 [いくつでも○]

1. 面談スキル（ロールプレイングなど）
2. プレゼンテーションスキル（製品説明会の予演など）
3. コミュニケーションスキル（コーチングなど）
4. 同行（上司、先輩など）
5. ケーススタディ（事例発表会、ダイアログなど）
6. 情報活用スキル（ITの操作など）
7. 医療機関での現場実習（病棟、薬剤部など）
8. 介護体験（在宅、介護施設など）
9. 地域福祉・ボランティア活動
10. 救命講習会（AED、人工呼吸など）
11. その他

VI-3. MRの継続教育の外部委託について

Q37. 継続教育の外部委託について〔1つだけ○〕

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 外部委託している | 2. 対象者の人数によって外部委託することがある |
| 3. 外部委託していないが、今後検討したい | 4. 外部委託を考えていない |

↓ Q37で「1.」「2.」を選んだ方にお聞きします。

Q38. どの科目を外部委託していますか。〔いくつでも○〕

- | | | | |
|--------|----------|----------|--------------|
| 1. 倫理 | 2. 医薬品情報 | 3. 疾病と治療 | 4. 法規・制度・PMS |
| 5. その他 | 具体的に | | |

↓ Q37で「1.」「2.」を選んだ方にお聞きします。

Q39. 外部委託の合計時間は、何時間ですか。〔数値記入〕

合計 時間

Q40. 継続教育で社外から招聘した講師はいますか。またその講義内容についてご記入ください。〔いくつでも○〕〔各文字記入〕

社外講師 〔いくつでも○〕	タイトルまたは講義内容〔文字記入〕
1. 医師	
2. 薬剤師	
3. 看護師	
4. 弁護士	
5. 特約店幹部	
6. その他	

VI-4. MRの継続教育の課題と対策について

Q41. 継続教育の課題について [いくつでも○]

1. 自ら考え、学習するMRを増やしたい
2. 一方的な講義だけでなくインタラクティブな研修を増やしたい
3. トレーナーを増員して密度の濃いトレーニングをしたい
4. 若手トレーナーの能力アップを図る施策や時間が足りない
5. ベテラントレーナーのモチベーション維持や研修手法が独善的で苦労している
6. 研修成果の検証方法に苦慮している
7. 営業活動が優先してしまい、研修時間の確保に苦労している
8. 実績アップに即効かつ直結する研修が期待され苦慮している
9. マネージャーの教育研修に対する意識が低い
10. トップの教育研修に対する理解が足りない
11. その他

Q42. 継続教育を充実させるために現在取り組んでいるもの、今後取り組みたいものを、それぞれお答えください。 [各いくつでも○]

	で現 在取 り組 み	た今 後取 り組 み
1. 一方的な講義に偏らないようMR参加型プログラムも取り入れる	1	1
2. MRの学習意欲を高めるためプログラムを工夫する	2	2
3. MRの考える力を高めるためにダイアログを取り入れる	3	3
4. 医療現場のニーズに対応できるプログラムを立案する	4	4
5. 患者さんの立場にたった情報活動ができるよう研修内容を工夫する	5	5
6. 医療関係者との信頼関係が築けるよう面談スキル研修を強化する	6	6
7. 「自社の目指すMR像」または「自社MRの行動規範」を策定する	7	7
8. 研修ごとに到達目標を明確に設定する	8	8
9. 一斉テストや研修前後の知識確認テストを行う	9	9
10. 自社製品に関連する「診療ガイドライン」を使いこなせるようにする	10	10
11. 医学の高度化・専門化に対応できるような研修を導入する	11	11
12. 向上意欲に応えるために上級MR・社内認定制度を導入する	12	12
13. 自学自習を習慣づけるためにe-ラーニングシステムを充実させる	13	13
14. 研修に対するトップやマネージャーの理解が得られる工夫を図る	14	14
15. 若手・ベテランを問わず、トレーナーを社外セミナーに参加させる	15	15
16. その他 <input style="width: 450px; height: 20px;" type="text" value="具体的に"/>	16	16

Ⅶ. 教育研修担当者の資質向上について

センター策定の「MR教育研修制度及びMR認定制度の抜本改革報告書」には「教育研修担当者の資質向上」が含まれています。具体案の作成にあたり参考にしたいと思いますので下記の設問に回答してください。

Ⅶ-1. 教育研修担当者の概要

Q43. 教育研修担当者数〔各数値記入〕

①合計				②教育研修専従者 ※1 (トレーナー)				③MR研修兼任担当者 ※2			
			名				名				名

※1 教育研修専従者とは、導入・継続教育の企画・推進・講師などMRの能力開発・教育研修を主たる業務としている者となります。

※2 MR研修兼任担当者とは、学術・製品(PM)・PMS・販促企画などの業務に加え、MRの教育研修も担当している者となります。

Q44. 教育研修担当者(インストラクター及びトレーナー)の数〔1つだけ○〕

1. 十分 2. 平均的 3. 不足 4. 不明

Q45. 教育研修専従者(トレーナー)の資質〔1つだけ○〕

1. 十分 2. 平均的 3. 不足 4. 不明

Q46. 教育研修担当者の業務分担〔1つだけ○〕

1. 導入研修と継続研修の担当を分けている 2. 導入研修と継続研修の担当を分けていない
3. 一応分けているが、科目により両方行う者もいる
4. その他

Ⅶ-2. 教育担当者の職制

Q47. 企業による組織改正が行われていますが、教育担当者の職制について〔1つだけ○〕

1. 教育研修専任者である
2. 教育研修担当者は兼務である

↓ Q47で「2. 教育研修担当者は兼務である」を選んだ方にお聞きします。

Q48. 兼務している部署名〔いくつでも○〕

1. 学術、学術情報 2. マーケティング 3. 安全管理、信頼保証、P V
4. プロダクト担当 5. 人事、総務 6. M S L
7. 薬事
8. その他

質問は以上で終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒に調査票を3つ折りにして封緘の上、ご返送をお願いします。